

# HOG

## 教区新報

### YOOG

発行所

浄土真宗本願寺派 兵庫教区教務所  
〒650-0011 神戸市中央区下山手通8丁目1番1号  
(本願寺神戸別院内)  
電話 神戸(078)341-5949(代)  
[編集] 兵庫教区広報部

2017. 1 197号

## 「いのちの尊さ」を見つめなおす 〜二・二七いのちを考える研修会〜

一月十七日本願寺神戸別院にて「阪神・淡路大震災物故者総追悼法要」が勤められた。

淡路大震災」から今年は二十二年目となる。午後一時より輪番挨拶の後「つどい」として、宗門関係学校の学生四名により、「いのち」をテーマとした作文の朗読が行われた。【作文朗読者】◆井藤菜ノ花さん(睦学園神戸国際中学校)◆山本一輝さん(成徳学園神戸龍谷中学校)◆黒岩実花

マとした作文の朗読が行われた。【作文朗読者】◆井藤菜ノ花さん(睦学園神戸国際中学校)◆山本一輝さん(成徳学園神戸龍谷中学校)◆黒岩実花

さん(睦学園兵庫大学附属須磨ノ浦高等学校)◆山田桃子さん(成徳学園神戸龍谷高等学校) 続いて午後一時半より法要が始まり、正信偈の



落ち着いた語り口の木村氏

お勤めに併せ参拝者の焼香が行われた。その後「二・二七いのちを考える研修会」として、法学者であり、テレビ朝日系列『報道ステーション』のコメンテーターなどをつとめる、木村草太氏をお迎えして、『国民の命を守る憲法と立憲主義』と題した講演が行われた。

木村氏は、憲法は国家権力の暴走を止める役割を持った重要な法律だと存在意義を説明された。憲法というのは国家権力の失敗を繰り返さない、そういう目的がある。国家権力の失敗を繰り返さないための仕組みが憲法であり、国家権力の三大失敗として、「無謀な戦争」「人権侵害」「独裁」をあげ、「軍事力のコントロール」「基本的人権の保障」「権力分立」が必要であると話された。

木村氏は、終始静かな口調で話されたが、自分の体験も交えた微笑ましい内容には思わず会場に笑いが起こる場面も見られた。



小学生の時、遠足で奈良の大仏を見に行きました。

ました。見上げるほどの大きな大仏さまを見てこう思いました。うちのお寺の阿弥陀さまはなんて小さいんだと。◆阿弥陀さまは全ての世界に満ち溢れ、全ての生きとし生ける者に届いてくださる仏さまです。けれどもそのような仏さまを想像するのは少し難しいです。そのことをお見抜きされておられたからこそ、阿弥陀さまは私たちにわかるように、手を合わせるように、手が出来るように、私の前に現れてくださったのです◆阿弥陀さまが小さいのではない。お寺の大きさに、お仏壇の大きさに阿弥陀さまの方が合わせてくださったのです。いま、そういう仏さまがお寺の本堂に、我々のおうちのお仏壇に届いておられます。その仏さまに手を合わせ、お礼の言えることは、有り難いことです。

神戸中組 徳本寺 津守秀憲

# 教区宗会議員決まる



大川 久夫 氏



鹿多 証道 氏



多田 満之 氏



豊原 大成 氏

任期満了に伴う宗会議員選挙の宗告発付にともない、僧侶議員（教区定数三名）と門徒議員（教区定数一名）の選挙が行われ、教区より四名の宗会議員が選出された。

僧侶議員においては、選挙区の議員定数での立候補者数であったため、選挙日（十二月十一日）翌日の選挙会にて、立候補者三名が当選された。また門徒議員においては、十二月十四日開催の臨時教区会での選挙会にて、教区会議員の承認により、立候補者一名が当選された。当選者は次の通り。

◆【僧侶議員】  
◆豊原大成氏  
（阪神西組西福寺住職）

◆多田満之氏  
（赤穂北組西光寺住職）

◆鹿多証道氏  
（加古川組妙正寺住職）

◆【門徒議員】  
◆大川久夫氏  
（朝来組如来寺門徒）

## 悟りの智慧を味わう 6回継続全6回（第2回）



### 「布施」のこころ

最近、電車の優先座席を

「譲れ」「譲らない」で口論をする老人と若者のやりとりの様子がネット上に流され、その是非をめぐって物議を醸したことがあった。

それは、老人が優先座席に座っていた若者に対して、「座席を譲れ、（優先座席であるという）日本語がわからないのか」と高圧的な態度で接したことに若者が腹を立て、「そういう人に譲りたくないわ、残念だったな」と言い放ったものであった。そんなやりとりが何度も繰り返され、さらにこの若者はツイートの、次のようにつぶやく。

「私は優先座席を譲りませ

ん!! なぜなら先日、今にも死にそうな老人に席を譲ろうとしてどうぞと言ったら、（私はまだ若い）と言われ、親切な行爲をした私がバカを見たからです。今後とも老人には絶対に譲りません」と。

この老人と若者の双方の態度の是非については、動画を見た方々それぞれの意見に分かれると思うが、私が少し引かなかったのは、若者の「親切な行爲をした私がバカを見た」という言葉であった。

つまり「優先座席を譲る行爲」は、私が他者にしてあげる親切な行爲だと見て、私が相手に「してやる、してやった」という思いがのぞき見えることであつた。

他者のために何かを「してやる、してやった」と思うとき、たとえ無意識であつても少なからず相手に何らかの報酬を求める心が生じるようである。

先の例でいえば、座席を譲って礼を言われなかったら、私も少なからずムッとするに違いない。感謝や賞賛などの見返りを期待しているからだ。

老人「（…心遣いがありがとう。）」

またある時は、

若者「どうぞお座りください。」

老人「ご親切をありがとうございます。」

若者「（…座ってくださいありがとうございます。）」

この相手を感じる双方の「（ありがとう）」という心の声が大切なのだ。

先日の出来事、西院から京都駅まで市バスで移動した時のことである。四条大宮で座席が空き、さあ座ろうと腰をおろしかけたとき、お年寄りがヒョコッと乗車してきた。思わず腰を浮かせて前の方に移動したが、結局そのあと二十分間、立ったまま京都駅に到着した。降車時にバスの運転手さんが一言。

「先ほどはありがとうございます。良かったです。」

最初は何のことかわからなかったが、気がついたその瞬間、ホッと心が温かくなった。

掛龍西組西法寺住職

岩谷 教授



## 楽しくぐ縁づくり プレなもナモ検定

一月二十一日、別院本堂において、『プレなもナモ検定』(兵庫教区子ども若者ご縁づくり推進委員会主催)が開催された。この検定は、昨年発刊された『千問書(なもナモ検定)』を用いてのご縁づくりの一環としての事業である。

今回の検定には、教区内の門信徒や子ども会の会員、県内の宗門校である兵庫大学附属須磨ノ浦高等学校と神戸龍谷高等学校の生徒や先生併せて四十名が参加した。

検定は、本堂に①③番までの番号札を用意し、出題者が問題を読み上げ、参加者が正解だと思ふ箇所へ移動してもらうゲーム形式で行われた。子どもたちは問題が読み上げられると、周りの友だちと相談をしながら、正解だと思ふ箇所へ移動し、正解が発表されると一喜一憂しながら検定に挑んでいた。



本堂中に笑顔が弾けた

また、高校生たちも難しい問題では不安そうな表情で移動し、正解する



最後に全員でパチリ

とホッとした表情を浮かべていた。中には走り回って汗をかく参加者も。

検定終了後には、正解数に応じて「なもナモ検定」のスタンプが押された華葩が配られ、子どもたちは嬉しそうに別院を後にした。

今後、夏休み期間中の八月二十六日(土)午後一時半より、別院において「第一回なもナモ検定」を開催する。参加対象は子どもから大人までの全ての人。問い合わせは、兵庫教区教務所「子ども若者ご縁づくり担当」まで。

## 御同朋の輪よ 広がれ!

～連研修了者大会ご案内～

この度、第十九期連研修の修了を機に、「兵庫教区連研修了者大会」が六月十一日(日)に、神戸別院を会場に開催される。

本大会は、これまで各組で連研修を受講された修了者同士が一堂に会し修了者大会を開催することで、お互いの交流を深め、組・地域を超えてお念仏よろこぶ人々がいることを知り、御同朋・御同行の輪が益々広まることを目的とするものである。

参加対象は第十九期の連研修了者に限らず、これまでの連研修了者(第一期～十九期)全てが対象となる。

大会では、テーマに「自他共に心豊かに生きる」とのできる社会をめざして」と題し、連研中央講師である季平博昭氏(備後教区御調束組法光寺)を講師にお迎えしての記念講演を開催。昼食の後には、クイズ形式の「お楽しみ研修会」も予定されている。また、本大会に併せ、別院本堂にて「帰敬式」も実施される。詳細については次の通り。

### 【開催要項】

◆期日/平成二十九年六月十一日(日) 十時半～十五時半 ◆会場/本願寺神戸別院 ◆対象/第一期十九期連研修了者 ◆参加費二千円(昼食代含む) ◆申込方法/各組担当者宛てに五月十五日(月)までに申込み(帰敬式について) ◆申込期限/内願法名希望者:平成二十九年四月四日(火) 内願をされない方:平成二十九年五月四日(木) ※内願:授かる法名を前もって本山にお願いし許可をいただく ◆申込方法/所属寺ご住職へ必ず相談の上、各組担当者宛てに申込み ◆受式冥加金/内願有り二万円・内願無し一万円(申込時に各組担当者宛にお納めください) ◆お問合せ先/兵庫教区教務所 所 〇七八三・四一五九四九



年三回発行のリーフレット『法』シリーズ。今回のお彼岸号は、藤川正敏氏(神戸東組西林寺)にご執筆いただきました。一部二十円(送料実費)にて販売しております。また、百部以上ご注文の場合は寺号を無料で印刷致します。教務所まで、ご注文ください。 【教務所 〇七八三・四一五九四九 / FAX: 〇七八三・四一八五二六】

## 讃仏の歌声に包まれて

### ～コーラスフェスティバルご案内～

コーラスフェスティバルは兵庫教区寺族婦人会、仏教婦人会が共催する仏教讃歌の合唱大会。

日々の練習の成果を発揮できる場所と少しでも多くの方に仏教讃歌に親しんでいただくとうと始められ、今年度で十二回目を迎える。

昨年度は十五団体、約二百七十人の出演者があり、観覧者を含めると約三百人の参加者となり、思い思いの衣装に身を包

んだ出演者が素晴らしい歌声を別院いっばいに響かせた。

プログラムの最後にはこれまでご縁のなかった方にも仏教讃歌とご縁を結んでいただけるよう歌唱指導を行い、会場全体で全体合唱を行っている。

お寺や組などでコーラス活動をされておられる団体はぜひコーラスフェスティバルで日ごろの成果のご披露を。

【開催要項】三月一日(水)

毎年度初めに、仏教壮年会

連盟は担当ブロックで報告総会を開催する。

今年度は、阪神・神戸ブロック担当の元、六月五日に兵庫大学附属須磨ノ浦高等学校にて開催され、約五百名の仏社会員が

総会に集った。

総会では、女性打楽器アンサンブルグループ「フライングマレッツ」によるマリンバ演奏が会場を大いに盛り上げ、龍谷大学文学部教授の鍋島直樹師(神戸中組真覚寺)より「親鸞聖人と阿闍世王の救い」と題して記念講演が行われた。

来年度は、東播ブロックが担当を務め、五月二十日(土)に加古川のアラベスクホールにて開催される。



マリンバの音が響き渡る



旋律に心を込めて……

## 如来広大の恩徳を味わう

### ―青僧会が公開講座―

三月六日の午後三時より、神戸別院にて、「兵庫教区青年僧侶の会連続研修会」が開催される。

青年僧侶の会では、年度二・三回程度、浄土真宗の教義や社会問題等について、専門に活躍している講師を迎え様々なテーマにて研修会を行っている。

今回は、講題を「如来広大の恩徳」を味わう―自力から他力への展開―と題し、龍谷大学准教授であられる井上見淳師よりお話をいただく。

参加費は一人千円。研修会内容に興味のある方、青年僧侶の会活動へご協力いただける方、是非ともご参加ください。

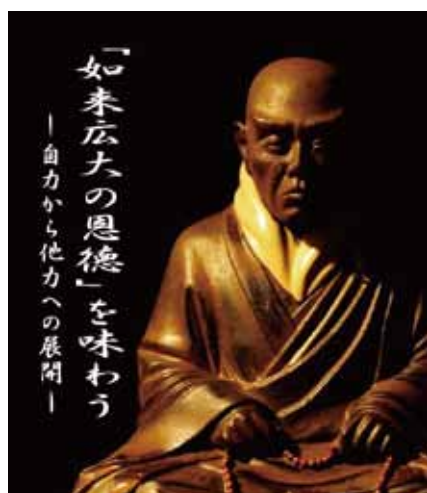
### 兵庫教区青年僧侶の会主催連続研修会

講師 龍谷大学准教授 井上見淳 師

日時 二〇一七年三月六日(月)

―五:〇〇―一七:〇〇

場所 本願寺神戸別院



参加費: 1000円

西暦 578 年創業 寺院建築



# 金剛組

大阪本社 〒543-0051 大阪市天王寺区四天王寺 1-14-29

電話 06-6779-7731

東京本店 〒104-0061 東京都中央区銀座 7-12-7

電話 03-6853-8190

北海道支店・関東支店・名古屋支店・京都支店・九州支店・北陸営業所・広島営業所

私たち「金剛組」は、1400 年余の歴史と伝統を未来へと引き継いでまいります。

寺院建築の新築、改修等お気軽にお問い合わせください。



0120-054-731

<http://www.kongogumi.co.jp/>

